右のQRコードで
西村くにこの各種SNSに
アクセスできます！
ぜひ登録してください。

LINE　X（旧Twitter）　@KUNIKO_NISHIMURA instagram　Facebook

ＬＩＮＥ版「＃７１１９」がスタート！

急な病気や突然のケガ。皆さんは救急車を呼ぶかどうか迷ったことはありませんか？神奈川県では、２４年１１月から、２４時間３６５日、看護師等が相談に応じる救急電話相談「かながわ救急相談センター（＃７１１９）」を運営しています。

救急車の適時・適切な利用を！

必要な人に必要な医療を提供するため、西村くにこは救急電話相談＃７１１９の実施を議会で繰り返し提案し、８年越しで実現させることができました。



実施以降、ここ半年の相談件数は毎月３万件超。現在、電話の応答率は約９５％で１～２回の電話でつながりますが、大型連休や年末年始など、医療機関の休業等に伴い、相談の電話が集中すると、繋がりにくくなることが想定されます。

これを踏まえて、西村くにこは２３年１２月の代表質問で、コロナ下で活用した「ＬＩＮＥコロナパーソナルサポート」のノウハウを活用し、ＬＩＮＥでも医療相談ができる体制を検討するよう求めていました。

電話でＬＩＮＥでつながる工夫

そして２５年１１月７日から、これまでのサービスに加え、ＬＩＮＥから救急緊急度の判定や医療機関の検索ができる「かながわ救急パーソナルサポート」がスタートしました。

かながわ救急パーソナルサポート

ＬＩＮＥ「かながわ救急パーソナルサポート」では、症状を入力していくと、緊急度によって、救急車を呼ぶようにうながされたり、医療機関の受診を勧められます。受診の場合は、推奨する診療科目を教えてくれ、医療機関検索のコーナーにも繋がるようになっています。ご利用の際、個人情報等の入力がありますので、余裕がある時に、登録しておくことをお勧めします。

県民の命と健康、そして地域医療を守るため、西村くにこはさらなる挑戦を続けてまいります。

困難な問題を抱える女性のための通所型支援スタート！

近年、女性をめぐる課題は多様化、複合化、複雑化しています。いじめ、虐待、貧困、ネグレクト、ＤＶ、親に言えない悩みがある、望まない性行為をした、居場所がない…発信できないＳＯＳと生きづらさを抱えている若い女性たちは、悩みを抱え込む傾向が強いため、問題が顕在化しにくく、支援につながらないという側面が指摘されています。



西村くにこは、２２年９月１３日の代表質問で、様々な困難を抱える若年女性の悩みにしっかり寄り添うため、民間団体と行政が密接に連携し、それぞれの強みを生かした公民協働による支援体制の充実を図るよう求めました。

そして２５年９月１日、虐待などにより家族を頼れない１５～２９歳の若年女性が無料で通える居場所「アマヤドリスタジオ」が逗子市内に開設され、若者支援の実績を持つ公益社団法人アマヤドリが県の委託を受け運営しています。

公益社団法人アマヤドリ相談フォーム

また、９月３０日には神奈川県女性自立支援施設のサテライトとして「こもれび わたしの居場所」がオープンしました。こちらは、各市町村等の女性相談窓口にご相談中の方や女性自立支援施設を退所された方に安心・安全な居場所を提供し、経験豊かなスタッフが女性自立支援施設の専門性を生かした支援を提供します。

県内の相談窓口一覧

さらに１１月６日に開設した、「セーフスペース・カフェ　ここ＊LOCO」では、これまで生きづらさを抱えた女性を支援してきたノウハウを活かし、女性が安心して過ごすことができるもう一つの居場所を提供します。

日常生活又は社会生活を円滑に営む上で困難な問題を抱える女性（県全域から利用可）【通所型支援　一覧】

名　称	アマヤドリスタジオ	こもれび　わたしの居場所	セーフスペース・カフェ ここ＊ＬＯＣＯ
特　徴	若年層を中心としたきめ細かな支援	女性自立支援施設のサテライト	地域に根差した気軽に立ち寄れる場所
場　所	逗子市内	藤沢市内	平塚ＹＷＣＡ会館
利用日時（祝日・年末年始を除く）	月曜、火曜、木曜、金曜 １０時～１６時	火曜、木曜、金曜 １０時～１６時	月曜 １４時～２０時 木曜 １０時～１６時 金曜 １０時～１６時（月２回） 土曜 １４時～２０時（月２回）
利用方法	運営事業者のホームページより予約	女性相談窓口に相談	事前予約不要

@AMAYADORI_OFFICIAL　@COCOLOCO_YWCA